

科目名 Course Name	ガイドヘルパー講座 II Course of Study on Mobility Guide II						
年次	2年	期別	後期	単位数	1	授業形態	演習
担当者氏名	久保 由佳						
連絡先(質問等)	福祉棟 2F 研究室か、メールで対応。オフィスアワーは火～金曜日の授業担当時間以外。						
必修/選択	選択(ガイドヘルパーユニット必修)						
関連 DP	DP1, DP2, DP5						
授業の概要と到達目標	<p>全身性障害および強度行動障害のある人の移動支援に関する基礎知識と技術を学習する。</p> <p>①全身性障害および強度行動障害のある人の日常生活を捉え、障害のある人の思いに気付くことができるようにする。</p> <p>②車いすの基本構造を説明でき、点検および操作ができるようにする。</p> <p>③全身性障害のある人の移動支援方法と留意点を説明でき、安全かつ安楽な車いすでの外出支援ができるようにする。</p> <p>④強度行動障害のある人の障害特性から利用者像をイメージできるようにする。</p> <p>⑤強度行動障害のある人の適切な外出支援方法を選択できるようにする。</p>						
授業の方法	講義、演習、視聴覚教材の視聴、グループワーク、事例検討、ロールプレイ等、多様な授業形態をとる。車いすでの移動支援に関する演習(第5回目)は、屋外でも実施する。						
学習成果	L01	全身性障害のある人の移乗と移動支援技術を習得し、車いすでの外出支援ができる。強度行動障害のある人の障害特性をふまえた外出支援ができる。					
	L02	障害のある人の気持ちを考え、適切に接することができる。					
	L03						
	L04						
課題に対するフィードバック	事例分析では、グループワーク・発表後に模範解答を示し、講評しながらフィードバックする。						
教科書/参考図書	<p>①ガイドヘルパー研修テキスト 全身性障害編 中央法規出版</p> <p>②強度行動障害支援者養成研修[基礎研修・実践研修]テキスト 行動障害のある人の「暮らし」を支える 中央法規出版</p>						
履修上の留意点やルール等	<p>●ガイドヘルパー講座 II だけの履修は認められない。ガイドヘルパー講座 I、III も必ず履修すること。●ガイドヘルパー講座 I～III の単位を取得し、必要な手続きをすると、「修了証明書」が発行される。●やむを得ず欠席した場合は、速やかに届け出を提出すること。●事前・事後学習に費やすべき時間の目安は各回 45 分とする。</p>						
担当教員の実務経験							

成績評価の方法と基準					
評価の領域	評価基準	学習成果の割合			
		L01	L02	L03	L04
授業参加態度	S評価は、①使用教材を準備し、必要なことはノートにとっている。②実技演習の際は身だしなみを整えている。③積極的に参加している。	20			
レポート/作品	S評価のレポートは、演習を振り返り、学びや気づき等、自分の考えが具体的に記述できていること。		20		
発表	第 11～14 回目の内容を評価する。S評価は、課題を具体的にまとめていること。工夫して発表(ロールプレイ)していること。		10		
小テスト					
試験	全身性障害の移動支援や行動援護について出題する。	50			
その他					
合計		70	30		

回数		授業計画
1	授業内容	ガイダンス、演習時の諸注意(30分) 基本的な移動の介護に係る技術に関する講義①:全身性障害者の理解(60分)
	事前・事後学習	授業のノートや配布資料を整理する。必要に応じてファイル等を準備する。
2	授業内容	基本的な移動の介護に係る技術に関する講義②:車椅子の種類と機能、姿勢保持(90分)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。テキストの該当ページを読む。
3	授業内容	基本的な移動の介護に係る技術に関する講義③:移動支援時の留意点(30分) 車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習①:生活行為の介助(60分)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。テキストの該当ページを読む。
4	授業内容	車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習②:車いすへの移乗介助(90分) 【レポート1:演習の振り返り、提出は第6回目の授業時】
	事前・事後学習	移乗介助の手順を転記する。移乗介助を練習する。レポート1の作成。
5	授業内容	車いすでの移動の介護に係る技術に関する演習③:車いすでの移動介助(90分)
	事前・事後学習	車いすでの移動介助を練習する。テキストの該当ページを読む。レポート1の作成。
6	授業内容	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義①:家族の想い、支援の実際(90分)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。
7	授業内容	強度行動障害と生活の組み立てに関する講義②:支援の実際(30分) 行動障害の背景にある特性の理解に関する演習①:障害特性(60分) 【レポート2:演習の振り返り、提出は次回授業時】
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。演習を振り返り、レポート2を作成。
8	授業内容	行動障害の背景にある特性の理解に関する演習②:障害特性、冰山モデル(90分)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。「障害特性に関する解説シート」を読む。冰山モデルについて、テキストや資料をもとにまとめる。
9	授業内容	障害特性の理解とアセスメントに関する演習①:事例分析(90分)
	事前・事後学習	事例①②をもとに、行動の理由、障害特性、支援方法を考え、まとめる。
10	授業内容	障害特性の理解とアセスメントに関する演習②:事例分析[発表とまとめ](60分) 環境調整による強度行動障害の支援に関する演習①:構造化、誤学習(30分)
	事前・事後学習	事例①②をもとに、行動の理由、障害特性、支援方法を考え、まとめる。模範解答を参考に再検討する。授業での配布資料を読み返す。
11	授業内容	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習②:グループによる事例分析[外出支援計画の検討](90分) <外出支援計画と支援手順書の作成>
	事前・事後学習	事例をよく読む。外出支援計画シートを作成する。
12	授業内容	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習③:グループによる事例分析[必要な構造化の検討](90分)
	事前・事後学習	外出支援計画シートと支援手順書を作成する。
13	授業内容	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習④:グループワーク[支援手順書の作成](90分)
	事前・事後学習	支援に必要な視覚支援(構造化)を考え、準備する。ロールプレイの準備・練習。
14	授業内容	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習⑤:ロールプレイ(90分) <ロールプレイによる発表>
	事前・事後学習	他グループの外出支援計画シートと支援手順書を読む。支援の留意点をまとめる。
15	授業内容	環境調整による強度行動障害の支援に関する演習⑥:支援の必要性(30分) 記録に基づく支援の評価に関する演習(60分)
	事前・事後学習	授業での学習内容を整理し、配布資料を転記する。テキストの該当ページを読む。これまでの学習内容を復習する。